第 9 回：多言語ウェブページ作成の準備

1. テキスト閲覧環境としてのウェブブラウザ

1.1. 外国語テキストの閲覧

これまで授業で見てきたように，テキスト文書はさまざまなソフトウエアで利用できる。外国語のエンコード方式のテキスト文書を閲覧 (表示, 印刷) できるソフトウエアとして最も手軽に使えるのは WWW ブラウザである。ブラウザは，テキストを読み込み，指定されたエンコード方式に応じて文字を適切なフォントで表示する。

外国語の文字エンコード方式で作成されたテキスト文書は，ウェブページを閲覧する場合と同様の方法でエンコードを指定し，ブラウザ上に正しく表示させることができる。手順は以下のとおり。

1. ブラウザを起動する
2. マイコンピュータなどでテキストファイルの入っているフォルダを開く
3. テキストファイルのアイコンをブラウザにドラッグ＆ドロップ (マウスでアイコンをドラッグしてブラウザ上にもっていき，マウスボタンを放す)
   ※ ブラウザの[ファイル]→[開く]でテキスト文書を指定すると，ブラウザでなくテキスト文書が関連付けられているソフトウエアが起動することがある。
4. テキストがブラウザで開かれる
5. 文字エンコード方式を選択し，文字を正しく表示する

※ Internet Explorer でエンコード方式を選択　※ Netscape でエンコード方式を選択

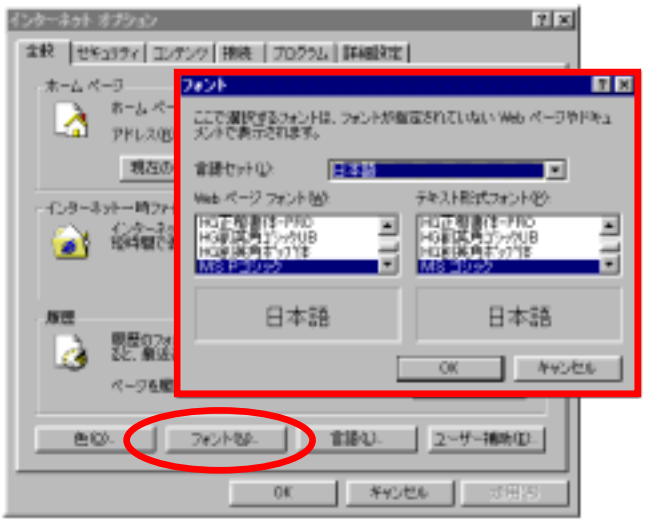
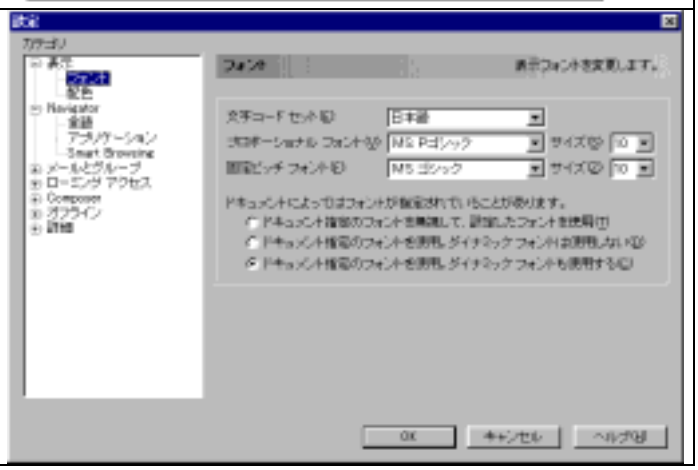
文字エンコード方式の表記はブラウザにより若干異なる (e.g.「繁体字中国語」⇔「中国語」;「西ヨーロッパ言語」⇔「欧米」)。また，Internet Explorer や Opera では，「西ヨーロッパ言語 (ISO)」といった標準的なエンコード方式に加え,「西ヨーロッパ言語 (Windows)」(Windows コードページ 1252) のような Windows 独自の拡張を含むエンコード方式が利用できる。

実習 1： Kadai **サーバの** [schiba]→[2005fl] **にある** [No9] **フォルダを** file_server **の** Home **にコピーしなさい。**Internet Explorer **を使い，コピーした** [No9] **フォルダにある** English.txt (**英語**), Korean.txt (**韓国語**), SimplifiedChinese.txt (**簡体字中国語**), TraditionalChinese.txt (**繁体字中国語**) **を表示させ，ブラウザのメニューバーの「表示」→「エンコード」で正しいエンコードを指定し，文字を正しく表示させなさい** (**文字エンコード方式としてそれぞれ「西ヨーロッパ言語**(ISO)**」「韓国語」「簡体字中国語** (GB2312)**」「(繁体字)中国語** (Big5)**」を選ぶ)。同様の作業を** Opera (**エンコード方式は，[表示]→[エンコード] から選ぶ)，**Netscape Communicator **でも行いなさい** (**エンコード方式は** [**表示**]→[**文字コードセット**] **から選ぶ)。**

1.2. フォントの選択とフォントの種類

Internet Explorer や Opera，Mozilla Firefox は，特に設定しなくとも標準の状態でさまざまな言語・地域のフォントを使えるが，Netscape Communicator の場合は，ソフトウエアのフォントの設定が不完全なため，言語によっては，ユーザがフォントを設定してやらなければテキストを正しく表示できない。**実習** 1 の中国語テキストを Netscape Communicator で閲覧しようとすると文字化けが起こるが, Netscape 自体は文字エンコードをきちんと解釈するので，フォントさえ正しく指定すれば，表示ができるようになる。

Internet Explorer，Netscape でのフォントの設定・確認の仕方は以下のとおり：

Internet Explorer： 1. [ツール]→[インターネットオプション]を開く。「全般」タブの下にある「フォント」ボタンを押して，「フォント」画面を開く。 2. 「言語セット」を選び，言語セットごとにフォントを選択する。 3. [OK]ボタンを押す。	
Netscape Communicator： 1. [編集]→[設定]で，「設定」画面を開く。 2. 「表示」カテゴリから「フォント」をマウスで選択する。 3. 文字コードセットごとにフォントを選択する。 4. [OK]ボタンを押す。	

Internet Explorer, Netscape Communicator とも，言語・地域ごとにプロポーショナルフォント, 等幅フォントをそれぞれ指定することができる (フォントの種類については第 4 回資料を参照)。

実習 2：下記フォントリストや Internet Explorer **の設定を参考に，**Netscape Communicator **で韓国語，中国語(簡体字，繁体字)が表示できるようにフォントを設定しなさい。**

WindowsXP **日本語版に搭載されている韓国語，中国語フォントの例 (第 4 回資料より)**

韓国語

Batang	안녕하십니까? 'Hello!'	プロポーショナル，セリフ
BatanChe	안녕하십니까? ' Hello! '	等幅，セリフ
Dotum	안녕하십니까? 'Hello!'	プロポーショナル, サンセリフ
DotumChe	안녕하십니까? ' Hello! '	等幅

中国語 (簡体字)

SimSun	我喜欢学习中文。I wanna study Chinese.	等幅
SimHei	我喜欢学习中文。I wanna study Chinese.	等幅

中国語 (繁体字)

PmingLiU	我喜欢学习中文。I wanna study Chise.	プロポーショナル
MingLiU	我喜欢学习中文。I wanna study Chinese.	等幅

実習 3： Netscape Communicator **で** Yahoo! **の各国版を閲覧しなさい。アメリカの本家のページ** http://www.yahoo.com **の下方に各国語版へのリンクがあるので参照し，自分の言語のページへすすみなさい。うまく閲覧できたら，サイトをブックマークに登録しなさい。**

現在の大学の PC の仕様では，Internet Explorer，Mozilla Firefox の設定 (ブックマークやフォントの指定など) を変更しても，ログオフするとリセットされてしまい保存できない。これに対し, Opera や Netscape Communicator では, 各ユーザの file_server の Home (F:)の「Opera7」「netscape」フォルダの中に設定内容が保存される。そのため，Netscape でおこなった各種設定はログオフ後も残る。(file_server の Home の中にある netscape や opera というフォルダは，この設定の保存用なので，うっかり削除しないこと！)

大学の Netscape Communicator のバージョンはかなり古い (4.72) ので使い勝手はあまりよくない。また，ロシア語などに使われるキリル文字の表示や，スタイルシートの表現に問題があるなど，いくつか重要なバグが残っている。現在の大学 PC では，WWW を上手に使いこなすためのツールとしては Opera が最適かもしれない。

2. テキスト文書としてのウェブページ

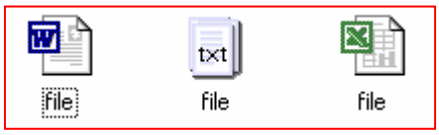
2.1. HTML 文書と拡張子

- ウェブページは，HTML (HyperText Markup Language) という決まりに従って書かれている。このため，ウェブページのことを HTML 文書と呼ぶ。
- HTML 文書の中身 (「ソース」という) は，実はテキスト文書である。つまり，エンコード方法さえおさえれば，どんな言語のウェブページでもテキストとまったく同じように編集できる。
- Windows では，ファイルの種類をファイル名の末尾の記号で示している。この記号を **拡張子** file extension という。テキスト文書でよく使われるファイルの拡張子は txt だが, HTML 文書では htm または html が用いられることが多い (おすすめは **html**)。,
- Windows は拡張子によってどのアプリケーションで開くかをあらかじめ登録し，起動しやすくしている。この対応を **関連付け** association といい，関連付けられたファイ

ルは，「マイコンピュータ」からファイルをダブルクリックするだけで開くことができる。大学の PC では htm や html という拡張子がついたファイルは Internet Explorer に関連づけられている。

Windows の初期設定では，関連付けられているファイルの拡張子は省略される。拡張子を含んだ「正確な」ファイル名を知らないと，HTML 文書を編集する際にトラブルが起こることがある。拡張子を含むファイル名を表示する方法を覚えておこう。

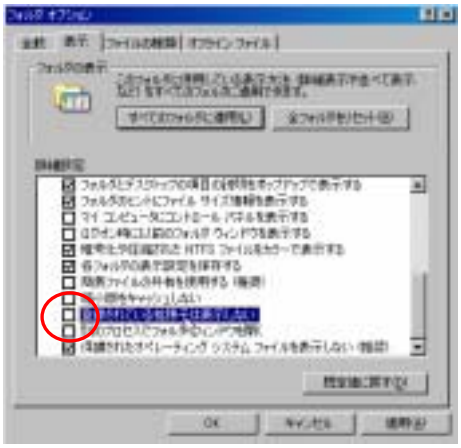
【復習】実習４：「マイコンピュータ」にコピーした [No9] **フォルダにある** file **という名前の３つのファイルを比べなさい。ログオンした時点では「マイコンピュータ」でファイルを一覧表示すると，これらのファイルは全て** file **という名前で表示される。下記の手順で設定を変更して拡張子を表示させ,正しいファイル名と拡張子名を書き出しなさい。**



ファイルの種類	正確なファイル名	拡張子
Microsoft Word 文書		
テキスト文書(ドキュメント)		
Excel ワークシート		

1. 「マイコンピュータ」を開き, メニューバーの[ツール]から[フォルダオプション]を開く。
2. 「表示」タブを選択する。
3. **「登録されている拡張子は表示しない」という項目のチェックをはずす**（右図参照)。
4. 「ＯＫ」ボタンを押す。これで，拡張子つきのファイル名が表示されるようになる。

※この設定は，大学のパソコンではログオンする度におこなわなければならない。自分のパソコンの場合，一度設定すれば同じ設定が適用される。



実習５： English.txt **を** EmEditor **で開き，「西ヨーロッパ言語」を文字エンコード方式に指定してポンド記号などを正しく表示しなさい。一旦** EmEditor **を閉じ，ファイル名の拡張子を**.txt **から**.html **に変更しなさい (実習４の拡張子の表示設定を必ず変更しておくこと)。ファイルアイコンをダブルクリックして，ファイルが** WWW **ブラウザ** Internet Explorer **で開き，「コードページ」を「西ヨーロッパ言語」としてテキストが正しく表示されることを確認しなさい。**

- ウェブページの拡張子 .html (または .htm) は，大学 PC では Internet Explorer に関連付けられており，ファイルアイコンをダブルクリックすると Internet Explorer が起動する。EmEditor で内容を編集したり，Internet Explorer 以外の WWW ブラウザでファイルを閲覧する場合はソフトウエアからファイルを指定して開く操作をおこなう。EmEditor の場合は，メニューバーの [ファイル] → [開く] を選択し，「ファイルの種類」を「全てのファイル」(または「HTML」) に指定して HTML 文書を選択する(「Text (*.txt)」のままでは HTML 文書が選択できないので注意。より簡単な開き方は，次回授業で紹介する)。

(以上)